

令和 3 年度事業報告 (案)

社会福祉法人 尼崎武庫川園

1 令和 3 年度事業総括

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、各事業所において職員及び利用者の感染事例が複数回あり、その対応に多くの時間と労力を必要とした。しかし、感染対策委員会の施設巡回による衛生環境整備等の助言を行う取り組みや各事業所における換気・消毒・三密回避への啓発、職員の標準予防策の徹底等により大規模なクラスターを防ぐことができた。また、西宮市の助成を受けて全事業所で月に 1～2 回の抗原定量検査（無料）を実施し、職員の感染防止に対する意識の向上を図った。事業の継続については、できる限り実施するよう努めたが、やむを得ず通所施設の臨時休園や入所併設型の短期入所の受け入れ中止を行わなければならない期間があった。ご利用者の自主的な休みや短期入所の利用控え等もあり、そのことによる事業収益への影響も少なからずあったと考えられる。

武庫アルテンハイムの老朽化の問題については、特に緊急性の高かった空調設備について更新を行った。また、8 月からは武庫アルテンハイム収支改善委員会を立ち上げ、稼働率の向上及び業務改善や職場環境の整備等について検討を開始している。年度後半には一定の改善傾向がみられ、収支改善と同時に改築又は大規模修繕等を視野に入れた検討を進めていきたいと考えている。

通所事業の再編については、報酬改定により就労継続支援についてはさらに工賃額による報酬単価の切り下げ施策が講じられ、再編による事業運営の再構築の必要性が高まった。各事業所内でご利用者のアセスメント及び就労評価を実施し、適正な事業利用に向けた各事業ご利用者（案）を作成し、合同での説明会の実施を計画した。しかし令和 4 年 1～3 月にかけて相次いで感染事例があり、延期せざるを得なかった。今後は早期に説明会を実施し、事業変更を伴うご利用者へは個別に相談を行いながら体験実習等の実施による移行を進めていく予定としている。

人材確保について、コロナ禍において対面での対応が困難である中、採用チームによるオンライン説明会・見学会の実施やオンライン合同説明会への参加を積極的に行い、4 名の新卒採用者を迎えることができた。また、同業種、他業種を問わず転職等による中途採用についても実施し、2 名を採用した。加えて、法人内での正規登用試験によりパート職員から 1 名を正規登用した。

人材育成については、新任合同研修及び各職場での OJT と合わせて、新任者が法人理念や社会福祉法人で働く意義を理解できるようにした。また、ご利用者の人格を尊重することの大切さを学び介護・支援者として確実な育成の機会とした。法人研修においてはコロナ対応の影響もあり、階層別・職種別等を意識したテーマの研修を十分に行うこと

ができなかった。各施設で実施されている内部研修情報を共有し、各施設からの参加を促すような仕組み作りに取り組み始めている。

地域支援について、相談支援事業所では法人内ご利用者を中心にサービス利用計画支援及びサービス継続支援を行った。相談支援員は施設職員との兼務で進めてきたが、10月から管理者兼専従相談員を1名配置するよう体制を見直し、兼務職員との2名体制とした。各種加算取得の要件確保や法人内のご利用者で他の相談支援事業所からの移行希望へ対応することで、契約者数を増加させている。

地域交流・貢献について、コロナ禍において地域の方との交流を活発に行うことは非常に困難であった。去年は断念した武庫川園祭りは、地域の方と一緒にできなかったが、各施設をオンラインでつなぎ、事前に収録した利用者の皆さんのソーラン節を編集して鑑賞していただき、ビンゴ大会を行って楽しんでいただいた。また、西宮市民祭りにも紹介ビデオにより参加した。西宮市社協共生のまちづくり課との連携による段上地区懇談会での施設交流会（ななくさ清光園・ななくさ学園・にしのみや聖徳園）において地域を巻き込んだ企画検討を行い、6月にはオンラインでのPTによる体操企画を実施した。また、春のイベントとして福祉体験型スタンプラリー「るんるんサクラウォーク」を令和4年4月に実施企画するなど、情報交換・交流等に努めた。

防災対策について、総合的なBCP計画について担当施設長による研修参加を実施し、「事業継続計画の作り方、活用の仕方」「福祉施設における災害対策」「感染症BCP研修」等のテーマについて知見を深め、検討を進めている。大雨や台風を想定した洪水警報発令時の避難、応援体制等の確認のため、図上総合防災訓練を5月に行い、リープ・フルーリー北側非常階段にて車いす利用者の垂直避難について実地訓練を行った。

2 職員配置

常務理事 事務局長兼務	施設長	事務員 施設事務兼務		
1	6	2		

4年3月31日現在

3 法人主催研修

実施日	研修名	人数及び対象階層	地域
4月～5月	新人職員研修	4名 新規採用者	
7月	救急救命研修	44名 全職員	

1 1 月	ガウンテクニック	18 名（通所）その他各施設実施	
12 月 2 日	サビ管ブラッシュアップ	8 名 サビ管及び役職者	
12 月 16 日	権利擁護研修	11 名 全職員	
1 月 14 日	メンタルヘルス	18 名 全職員	
2 月 26 日	実践報告会	18 名 全職員	
3 月 4 日	実践報告会	13 名 全職員	
3 月 19 日	実践報告会	10 名 全職員	1

4 年間行事

月	行 事 内 容
4 月	1 日 辞令交付式、法人新任研修 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
5 月	20 日 会計監査 26 日 監事監査 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
6 月	8 日 第 1 回理事会（決算報告等） 24 日 評議員会（決算報告等）第 2 回理事会（理事長選任） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
7 月	5 日 評議員選任・解任委員会の開催 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
8 月	武庫アルテンハイム収支改善委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
9 月	28 日 第 3 回理事会（第一次補正予算） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
10 月	14 日 第 2 回評議員会（第一次補正予算） 武庫アルテンハイム収支改善委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
11 月	28 日 正規職員登用試験実施 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
12 月	9 日 第 4 回理事会（事業経過報告） 20 日 評議員選任・解任委員会の開催 武庫アルテンハイム収支改善委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）

1 月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
2 月	武庫アルテンハイム収支改善委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
3 月	17 日 第 5 回理事会（第 2 次補正予算・令和 4 年度事業計画・令和 4 年度当初予算・就業規則等改正） 29 日 第 3 回評議員会（第 2 次補正予算・令和 4 年度事業計画・令和 4 年度当初予算・就業規則等改正） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）

松の園

1 令和 3 年度事業総括

3 年度は、男性 22 人、女性 23 人、計 45 人満床でのスタートであった。しかし、60 代女性ご利用者が 4 月に亡くなられた。また、60 代女性と 50 代男性の入院が長期にわたり、退院の目処が立たないこともあって、7 月末、2 月末でそれぞれが退所することとなった。年間のべ 300 日以上空床日があったが、ウイルスを持ちこまないために短期入所（空床型）を受け入れることができなかった。（短期入所利用の延べ日数は 57 日で前年の 16%、日中一時は 7 時間で、前年の 8%）空床が長期化しないよう、希望者の情報を得て入所者を確保できるように準備をし、年度内には法人内の通所事業所から 3 名の入所が決定した。収入面では他にも入院が長引いたご利用者が複数名おられ、約 700 万円の減収となり事業収益に大きく影響した。

年度初めにボイラー入れ替え、3 階ベランダ電気錠設置、二つの大きな工事を行った。必要不可欠の事業とはいえ、収支のバランスが崩れた原因となった。

新型コロナウイルス感染予防対策としては、引き続き消毒液等をしっかり備蓄し、職員が不安にならないよう十分に備えた。1 月に 1 名と 3 月に 1 名、職員が陽性となったが、ご利用者や他職員へ広がることはなかった。日中は必ず双方がマスクを着用し、手指消毒の徹底、密を避け換気をおこなうという基本的な行動が身についていたからこそその結果であった。早期に武庫川女子大学の PCR 検査を広範囲で実施し、適切な対応を早期にとることができた。ワクチン接種については嘱託医の協力もあり、ご利用者は全員年度内に 3 回接種を終え、職員も 2 名を除いて同時に終えている。活動エリアを共有する通所ご利用者とは日中活動での動線を変え、時間差で動くことで接触を避けることができている。

今年度は時機を見て専門学校生、大学生の実習を受け入れた。期間中だけでなく、前後 2 週間の健康観察と厳しい感染対策を求め実習に臨んでもらった。終了時には障害者施設への就職に興味を持ち、進路の選択肢を増やすことができたと聞いている。派遣職員 2 名の契約終了に伴い、以前夜勤パートとして勤務していた職員を中途採用し、1 月松の園に配属された。

日中活動の中心は生産活動だが、昨年度 127 万円であった収入が 98 万円に減少した。新型コロナウイルス感染症の影響で請け負う量が年々減っていることに加え、年齢を重ねたご利用者が生産に携わる時間が短くなっている。ご利用者に支払える平均年間工賃は昨年度より 2000 円減って、年額 20,000 円であった。十分な額とは言えないが、働いて対価を得るということは、社会・経済活動に参加していることでもあり、とても有意義な活動だと認識している。生産活動を主軸に置いていることで、生活にメリハリがあり、作業に携わることを生きがいに感じておられる方も多い。

コロナ禍で行動制限の多い中、いきいきと暮らせるよう、ご利用者主体の日課をプログラムしている。ボランティアの方々の力を借りて手芸や音楽などの余暇も充実させた。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師 (非常勤)	管理栄養士
1	1	1	1 (1)	1
理学療法士 非常勤	支援員 常勤	支援員 非常勤	嘱託医 内科、精神科、歯 科、耳鼻咽喉科	ボランティア グループ 1 個人 2
1	11	9	4	

2022年3月31日現在

3 内部・外部研修

	研修日	研修内容	参加
外	4月24日	自閉症 e サービス 特性理解 (支援員)	2
外	5月8日	自閉症 e サービス 評価から支援へ (支援員)	3
内	5月15日～	権利擁護研修 虐待防止の視点 (支援員)	1
外	5月25日	障害福祉新任研修 (支援員)	1
外	5月29日	自閉症 e サービス 構造化のアイデア (支援員)	3
外	6月12日	自閉症 e サービス コミュニケーション (支援員)	3
外	6月26日	自閉症 e サービス 問題行動の理解と対応 (支援員)	3
外	7月2日	自閉症 e サービス 自閉症施設における高齢化対応 (支援員)	2
外	7月10日 11日	強度行動障害支援者養成研修 基礎 (支援員)	2
外	8月24日 25日	自閉症 e サービス PECS 理論・実践 (支援員)	1
外	9月12月5日間	サービス管理責任者基礎研修 (支援員)	1
外	10月2日	自閉症 e サービスグループホームの様々な暮らし (支援員)	1
外	10月14日 15日	看護研修会 知的発達障害コース (看護師)	1
外	11月8日	苦情解決セミナー (支援員)	3
外	11月15日	BCP 策定・運用のポイント (支援員)	1

内	12月2日	サビ管ブラッシュアップ研修（支援員）	1
外	12月15日	障害のある人の生活習慣病（全職員）	23
内	12月16日	権利擁護研修（支援員）	2
外	1月18日	コロナ対策研修（看護師）	2
外	1月14日	自閉症 e サービス施設コンサルテーションの実務（支援員）	1
外	2月11～13日	行動援護従業者養成研修（支援員）	1
外	2月21日	高齢期の支援が変わる時（全職員）	23
外	3月14日	新型コロナウイルスには負けない（看護師）	1
外	3月23日	統合失調症を学ぶ（看護師）	1

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	5	お花見弁当	44
4月	17	バーベキュー①	43
4月	28	おやつバイキング	45
4月	30	松の園マーケット	44
5月	3・4	ゴールデンウィーク行事（おやつ作り）	44
5月	22	バーベキュー②	43
6月	14	ケーキバイキング	44
6月	26	バーベキュー③	44
7月	16	七夕会&昼食会	45
7月	22	松の園マーケット	44
7月	24	バーベキュー大会④	42
8月	28	バーベキュー⑤	43
8月	30	夏祭り&盆踊り	44
9月	7	健康診断	44
9月	14	食事会（行楽弁当）	42

9 月	25	バーベキュー⑥	42
10 月	9	松の町マーケット	43
10 月	23	バーベキュー⑦	44
10 月	29	ミニ運動会&焼き芋大会	44
11 月	24	武庫川園祭り	44
11 月	27	バーベキュー⑧	44
11 月	30	ビンゴ大会	44
12 月	18	バーベキュー⑨	42
12 月	25	クリスマス会&食事会（ビンゴ大会）	44
12 月	28	松の園マーケット	42
1 月	15	新年会（餅つき大会）	40
1 月	22	バーベキュー⑩	44
2 月	3	節分会	44
2 月	10	松の園マーケット	44
2 月	26	バーベキュー⑪	44
3 月	3	ひな祭り&昼食会	44
3 月	26	バーベキュー⑫	43

毎月・毎週の行事

- ・誕生会・理美容・血圧体重測定・内科検診・精神科往診
- ・オーラルケア・おやつ作り（毎週）
- ・耳鼻科検診（年2回）
- ・ミュージックセラピー（月2回）
- ・手芸教室（月2回）

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4 月	75,625

5 月	85, 488
6 月	64, 900
7 月	73, 755
8 月	61, 378
9 月	80, 463
10 月	67, 623
11 月	77, 413
12 月	94, 570
1 月	87, 294
2 月	79, 840
3 月	73, 700
合 計	922, 049

カトレアの園

1 令和3年度事業総括

令和3年度は入所者43名通所者10名でスタートした。緊急事態宣言中以外は積極的に体験やショートステイでマッチングを行い、新規に2名の方が入所された。1名がグループホームへ移行され、1名がお亡くなりになった。通所でグループホーム利用の方がヘルパーでの通所の支給決定が認められず送迎付きの事業所へ移られた。

新型コロナウイルス感染予防策の取り組みは昨年度同様①クラスターを発生させない②濃厚接触者にならないの2点を目標にあげ、年間通じてPPE・標準予防についての研修など行ってきた。

9月職員1名1月に職員1名が陽性となったが、職員利用者に感染が広がることはなかった。

シミュレーションが十分ではなかった面があり、実際の動きの中ではゾーン内の環境づくりや場面ごとのマニュアルに混乱が生じた。その都度振り返りと研修を繰り返し行った。

1月朝食中にのどにパンを詰まらせ救急搬送になったご利用者が出た。その後ハイムリック法と救急対応についての研修を行った。

退院後嚥下状態が低下したご利用者に対しては、訪問看護師と契約していただき、退院時と定期的な訪問でアセスメントと職員への指導を受けた。ご利用者の状況の変化に対応するため今後も研修や関係機関との連携が必要になってきている。また環境整備のため今年度は1室にリフトを設置した。

カトレアの課題としていた発達障害の方への支援について自閉症Eサービスの研修を受け、その内容を具体的に実践するなかでご利用者の行動や生活に変化があった。

コロナ禍でも楽しんでいただく行事として、毎月食のイベントを行った。

日中活動については金曜日の午後はこれまで行っていた選択できるメニューの自由活動からリハビリとリラックスを目的にリラクゼーションの時間を設けた。ボッチャは個人練習を継続している。14時から集団でのレクリエーションやc a f eなど活動を設定しているが介助のために定時には始められない状態になっている。活動が始まると特にゲーム大会などは皆さん楽しんで参加されている。集団活動と並行して個別支援を実施し、ご利用者の意向を伺った内容で、料理や手芸・部屋の整頓・外出などして過ごしていただいた。

生活動作や姿勢に着目したリハビリを推進し、PTと支援員が連携し、24時間姿勢ケアの取り組みを進めている。

虐待防止委員会では「スピーチロック」をテーマにグループワークを行った。

ノーリフトの取り組みについて労働安全衛生の視点をもってマネジメントできるようリフトリーダーがノーリフトケアコーディネーター養成講座のアドバンスを受けた。

6月老朽化していた給湯ボイラーの入れ替えを行った。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス管理責任者	看護師	栄養士
1	1	1	2	1
理学療法士	支援員 常勤（内嘱託）	支援員 非常勤（内派遣）	清掃・運転 非常勤	
1	24（3）	11（5）	5	

4年3月31日現在

3 外部・内部研修

外部研修

実施日	研修名	参加人数
4月～10月	自閉症eサービス基本講座	2名
6月7日	リーダーシップ研修	1名
7月3日	ポジショニング研修	2名
8月7・8日	新任職員研修	1名
9月～11月	ノーリフトケアコーディネータ養成講座アドバンス	1名
10月17日	食べること出すこと	2名
11月6・7日	個別支援計画作成及び運用に関する研修	1名
11月13日	ポジショニング研修	3名
12月2・5・8日	権利擁護研修	3名
12月18/19日	利用者一人一人の力を高める支援	1名
1月15日	看看連携	1名
3月2日	対人支援で押えておきたい基本姿勢	1名
3月5日	意思決定支援って何	1名
3月7日	障害者虐待対応研修	1名
3月14日	新型コロナウイルスには負けない	1名
3月23日	統合失調症を学ぶ	1名

内部研修

実施日	研修名	参加人数
4月24日	感染症認定看護師出張セミナー	5名
6月～	理想のケアとその実践	10名
7月20日～	応急手当／AED研修	17名
9月3日	PPE研修	28名
11月2日	自閉症基本研修	4名
11月30日	リープ自閉症研修	1名
1月6日～	ハイムリック法	28名
2月26日	実践報告松アルテン	3名

3月4日	実践報告カトレア・1松	5名
3月19日	実践報告リーブ・2松	2名

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	2～9日	近隣の公園で花見	46名
	23日	春の行事	34名
5月	2・4 24・ 25日	カトレア喫茶	35名
	25日	食イベント 海鮮ちらし	35名
6月	18日	沖縄弁当	31名
6月	25日	ひまわり会(自治会)総会	23名
6月	30日	段上地区ZOOM交流(WE Bでの 体操玉入れ)	52名
7月	30日	スポーツ大会	42名
8月	9日	カトレアc a f e かき氷	32名
	13日	お盆イベントあんみつ	38名
	26日	ミーツ・ザ福祉花火大会	36名
	27日	カトレア夏祭り	36名
9月	10日	食イベント 生フルーツバイキング	37名
	24日	選べるお弁当	37名
10月	29日	バーベキュー大会	40名
11月	5日	花火大会	35名
	12日	焼き芋 大会	47名
	24日	武庫川園まつり	42名
12月	17日	クリスマス会	49名
	31日	おでんパーティー	27名
1月	7日	新年会	48名
	16日	インクルネットオンラインコンサート	18名

2 月	4 日	選べるコンビニスイーツ	4 4 名
3 月	1 1 日	食イベント 握りずし	4 1 名

武庫アルテンハイム（案）

1 令和 3 年度事業総括

令和 3 年度は特養稼働率 80.6%（平均 48.3 名）、短期入所稼働率 48.8%（平均 2.43 名）であった。3 月に立て続けに 3 名の方がお亡くなりになり、昨年末から上がってきた稼働率も結果として目標定員数にも届かなかった。例年、同じことが繰り返され、稼働率が上がらない課題を今年度は克服しなければならない。柏理事を中心に法人で立ち上げていただいた収支改善方策委員会での議論や助言をもとに、次年度はより稼働率を上げるよう取り組みたい。

ショートステイの案内をしていることもあり、昨年末から土日に緊急でのショートステイ相談が増え、実際にショートステイの利用や入居につながっている。空き状態の PR は次年度も引き続き取り組んでいく。

昨年 8 月～9 月にかけて、職員 1 名・利用者 1 名の新型コロナウイルス感染者が出た。2 名とも、2 回目のワクチン接種後の感染であった。幸い、判明したことが早かったこと、保健所との連携で感染した利用者が翌日には入院できたこと、濃厚接触者 5 名いたがゾーニングが機能したことでクラスターを防ぐことが出来た。3 週間に渡った感染対応も、医務室を中心に介護職員も感染防止に努め、全職員が休むことなく対応したこと、法人全体で感染対応の支援に取り組んでもらったことで無事に乗り切ることが出来た。

令和 3 年度は、長年の懸念であった空調機器を全館入替えることが出来た。新型コロナウイルスの世界的な発生により、半導体が手に入らないという事態もあったが、12 月から始めた工事も 2 月末には無事に終えることが出来た。屋上の防水シートや外壁塗装、建物内の LED 化も含めて施設全体の設備投資の是非は課題として残ったままである。

2 職員配置 ※派遣職員除く（3 月末日で派遣職員は 2 名）

施設長	事務員	介護支援 専門員	看護師 （准看護師）	管理栄養士
1	2	1	3（2）	1
理学療法士 （リープ兼務）	介護職員 常勤（嘱託）	介護職員 非常勤（生活支援）	清掃業務 非常勤	生活相談員
1	14（1）	13（2）	2	1

4 年 3 月 31 日現在

3 内部・外部研修

実施日	研修名	主 催	参加者
5 月 1 日～ 10 月 1 日	介護支援専門員実務研修受講 WEB 講座	兵庫県老人福祉事業協会	2 名
4 月 23 日～	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉事業協会	1 名
4 月 23 日～ 6 月 25 日	ノーリフトから始める辞めない 職場作り（全 3 回）	日本ノーリフト協会	1 名

5月20日	災害支援におけるケアマネジャーの役割と活動を知る	西宮市ケアマネジャー協会	1名
6月7日	人が育ち、自分も伸びるリーダーシップ研修	福祉人材研修センター	1名
6月20日～ 7月30日	令和3年主任介護支援専門員更新研修（全8回）	西宮市ケアマネジャー協会	1名
7月30日	安全対策体制加算対応 「安全対策担当者研修」	兵庫県老人福祉事業協会	1名
10月16日	第5回感染対策出張セミナー	鳴尾・甲東甲陽園在宅療養相談支援センター	5名
10月17日	LIFEの活用方法について学ぶ	日本栄養士会	1名
10月19日	リスクマネジメント研修 【虐待防止対策】	福祉人材研修センター	1名
11月1日	あなたの魅力を引き出すコミュニケーションの実践方法	近畿老人福祉事業協会	1名
11月8日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修	福祉人材研修センター	1名
12月6日他	認知症介護基礎研修 eラーニング*	認知症介護・研究研修 仙台センター	2名
12月20日	介護職再就職支援講習（全3回）	ハローワーク西宮	1名
10月29日～ 12月24日	認知症介護実践研修（全6回）	神戸リハビリテーション専門 学校（兵庫県）	1名
12月11日、 18日	第1種衛生管理者受験準備講習会	西宮労働基準協会	1名
2月22日	アンガーマネジメント研修	福祉人材研修センター	1名

4 年間行事

月	行 事	
毎月	・ 選択メニュー昼食会 ・ ご当地駅弁昼食会	50名
4	花見昼食会 ミニ外出（桜花見、車窓観桜会）	48名 8名
5	端午の節句会（マグロの解体ショー）、菖蒲湯入浴	48名
8	・ アルテン夏祭り	47名
9	・ 敬老会	45名
11	・ 武庫川園法人祭り	47名
12	・ クリスマス会・ゆず湯入浴	50名
1	・ 新年会	51名

第2 松の園

1 令和3年度事業総括

令和3年度、第2松の園では利用契約39人でスタートした。

1日の平均利用者数は31.36人、定員35人に対して89.0%の利用率であった。前年度に比べ7.2%減少したのには、下記の影響があった。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令や感染拡大により在宅対応を希望された方は出勤として算定。

令和3年5月に女性利用者1名が家庭の事情から通所することが困難となり退所が決定、その後アルテンハイムへ入所となる。

令和3年8月に男性利用者1名が家庭の事情で、ご本人、ご家族、相談支援員で話し合われた結果、リーブフルーリーへ入所することになり退所となる。

令和3年8月に女性利用者1名が工賃収入増加の希望があり、他法人の事業所を利用されるとのことで退所となる。

生産活動に関して、今年度も営業の窓口として目標工賃達成指導員を配置し、ジョブステーション西宮からの作業や、単独では受注できない仕事を請け負うことができた。また、西宮市上下水道局より、引き続き水道メーター解体作業を請け負うこととなった。

令和3年度における平均工賃月額は5,350円。

作業場倉庫の移動や配置を変更することで東コーナーで個別に活動をおこなうスペースを確保した。また、職員更衣室を事務室内に変更することで個室を作る事ができた。

作業は障害特性に応じた構造化などの支援を行い、作業工程を細分化して提供をおこない、利用者1人ひとりが携われる工程を増やし、様々な経験を積み、スキルアップに繋がっている。

余暇活動の充実を図る為、外部講師による音楽療法をご利用者に月1回程度参加できるように実施。感染予防対策の為、小グループを設定して分散しての開催、感染拡大が懸念される状況ではオンラインで開催し意欲的に参加され毎月の活動を楽しみにされているご利用者も多くみられる。

職員体制については、9月に正規職員1名が育児休暇の延長となり令和4年4月復帰の予定。

不良品の発生に伴う検品作業、体調不良等による有給利用、作業の準備、片付け、梱包、事務員の事務作業、行事の準備、新型コロナウイルス陽性者発生に伴う対応などで超過勤務が342時間発生した。

感染症対応について、新型コロナウイルス陽性者は8月にご利用者2名、2月にご利用者4名が判明し健康観察期間を設定、期間中は休園して対応をおこなった。また、第1松の園での陽性者発生に伴い通園バス共用からの感染予防の為、3月に休園して対応をおこなった。

施設整備ではエレベーターワイヤー交換に伴う修理を実施。感染予防対策として1F手洗い場を自動水栓に改修した。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス 管理責任者	生活支援員	目標工賃 達成指導員
1	1	1	1	1
職業指導員 常勤（内嘱託）	職業指導員 非常勤			
2（1）	6			

4年3月31日現在

3 外部・内部研修

実施日	研修名	参加人数
5月～3月	自閉症eサービス研修（5回）	1
6月16日	就労支援リーダー育成セミナー	3
5月15日	虐待防止（通所）	6
7月15日	強度行動障害 実践報告会	1
7月17日	救急救命研修・身体拘束	1
7月19日	業務マニュアル運用	4
8月10日	権利擁護・虐待防止	2
9月10日～30日	強度行動障害基礎講座	6
9月29日	福祉施設における災害対策	1
11月29日	一羊会実践報告会	1
11月10～30日	感染症対策（法人）	2
12月8日	高次脳機能障害	1
1月6日、7日	サービス管理責任者研修（法人）	2
2月～3月	尼崎武庫川園 実践報告会	3

4 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
4月	10日	お花見	25名
5月	31日	季節行事（おやつ作り）	32名
7月	2日	バーベキュー	32名
8月	13日	大掃除	31名
9月	17日	夏祭り	27名
10月	13日	健康診断	33名
11月	12日	インフルエンザ予防接種	33名
	24日	武庫川園祭り	33名
12月	10日	クリスマス会	33名

	28 日	大掃除	34 名
1 月	15 日	新年会	26 名
2 月	3 日	節分会	21 名
3 月	3 日	ひな祭り撮影会	33 名

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4 月	121,382
5 月	123,356
6 月	171,498
7 月	168,344
8 月	149,857
9 月	187,830
10 月	352,214
11 月	271,550
12 月	199,201
1 月	156,684
2 月	174,018
3 月	139,370
合 計	2,215,304

リーブ・フルーリー

1 令和3年度事業総括

令和3年度は4月に男性利用者1名が亡くなられ、1月には女性利用者1名が亡くなられるといった悲しいことが続いた。また女性利用者1名は長期入院から病状が回復せず7月末に退所となった。現在、生活介護事業における年間の平均利用者数は46.7人から47.8人となった。空床については年度内に2名の方が入所となる。女性利用者1床の空床については、年明けよりオミクロン株の爆発的に流行したことにより入所に向けての動きが取れなかった。4年度の早い時期の入所者が決まるよう現在動いている。

令和4年1月・2月・3月と職員がご家族からの新型コロナウイルスに感染することがあった。いずれも女性職員であったため、その都度女性利用者、女性職員を中心にPCR検査を実施した。その結果、幸いにもその他の感染者はおらず、感染拡大には至らなかった。

短期入所については、新型コロナウイルス感染症の影響により入所利用者への感染拡大防止のため、緊急事態宣言期間及び、年明け後のまん延防止等重点措置期間は受け入れを中止とした。その期間が多くあったため、延べ利用者数は大幅な減少となった。過去5年間の延べ利用者数の推移は以下のようになっている。

年 度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
人 数	1199 人	1330 人	1440 人	843 人	260 人

新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた日帰り・一泊旅行は中止となった。様々な制限をかけざるを得ない期間が多く、ご利用者の多くはストレスの高い生活を強いられることとなった。その中でも、感染対策を行いながらの少人数の外出やドライブ等、コロナ対策のノウハウを活かしながらご利用者が楽しみとされている外出活動を計画、実施した。その他、施設内で楽しめる活動や小グループでの活動について、コロナ対策に合わせた形で実施する。音楽療法についてはオンラインを活用し、参加人数を制限しつつ継続して行った。

設備備品については、当初予定していた厨房の冷蔵庫の更新を行った。その他、各階における環境整備、備品等の改修は都度行っている。また、男性階において、浴槽内に入ることが難しくなっているご利用者が増えたこともあり、リフトの設置を行う。安全に使用するための職場内研修を現在実施中。

ご利用者の健康管理では、協力医療機関及び嘱託医との連携により疾病の早期発見・早期治療に努め、感染症予防措置の強化などに取り組んだ。高齢に伴う認知症等の症状が出ているご利用者もおられ、今後、現場での対応についての更なる専門知識が必要となってくる。専門医や医療機関とも引き続き協力関係の強化を図っていく。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師	管理栄養士
1	1	1	2	1
理学療法士	支援員 常勤（嘱託）	支援員 非常勤	その他	
1	2 1（3）	1 2	1	

4 年 3 月 31 日現在

3 内部・外部研修

<外部>

実施日	研修名	参加人数
7 月 13 日	介護技術（腰痛予防）研修 管理職編	1 名（支援員）
7 月 13・14 日 12 月 2 日	介護職員のためのノーリフティングケア研修	2 名（支援員）
10 月 13 日	管理者のための問題解決力向上研修	1 名（施設長）
10 月 23 日	利用者と介護者の体を守る介護技術研修	1 名（支援員）
11 月 13 日	介護技術（起居動作編）研修	1 名（支援員）
11 月 26 日	アセスメントスキル向上研修	1 名（支援員）
11 月 7 日	介護技術（起居動作編）研修	1 名（支援員）
11 月 27・28 日	福祉用具を使った安全安心なリハビリテーション	1 名（理学療法士）
12 月 13 日	リスクマネジメント研修（苦情・クレーム）	1 名（支援員）
2 月 15 日	社会福祉法人 財務管理研修	1 名（施設長）
3 月 14・18 日	サービス管理責任者更新研修	2 名（支援員）

<内部>

実施日	研修名	参加人数
5 月 25 日	権利擁護研修「グレー支援について」	10 名
6 月 22 日	感染症関連について	15 名
7 月 29 日	認知症について	14 名
9 月 21 日	AED 取扱いについて（複数日設定）	25 名
10 月 19 日	感染症関連について	20 名
12 月 21 日	権利擁護について	15 名
1 月 18 日	KYT 研修	8 名

3 月 8 日	リフト取扱いについて（外部講師参加型）	13 名
---------	---------------------	------

＊コロナ対応関連の内部研修は随時実施

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4 月	1・6 日	花見	49 人
6 月	29 日	行ったつもり旅行（北海道）	48 人
7 月	3 月まで	ふらっと外出（感染状況に合わせて実施）	49 人
7 月	27 日	夏祭り	48 人
8 月	14 日	夏季休暇支援（大分郷土料理）	40 人
9 月	21 日	花火大会	49 人
10 月	28 日	ハロウィン	49 人
11 月	24 日	法人祭	50 人
12 月	21 日	クリスマス会	50 人
1 月	18 日	新年会	49 人
3 月	15 日	お楽しみ食事会	49 人

第1 松の園

1 令和3年度事業総括

新利用者1名を加え10代1名から60代まで47名の契約で開始した。

入所に変更になられた方と、コロナ禍での通所利用場所として小規模の事業所へ変更になられた方の2名が退所された。また、1名は入院後の生活支援を相談支援事業と連携を取り、通所につながるよう行ったが、期間を要したため1年間ご利用がなかった。定員に対する登園率は85パーセントで昨年比9パーセント減となった。「在宅支援」などで事業継続を行ったが、一昨年度に増して新型コロナ感染拡大の影響により、登園自粛を選択していただかざるを得ない時期が多かった。

コロナ感染対策については、仕切りの増設や机の配置など環境整備、消毒や換気の徹底、職員全員研修や啓発と利用者ご家族への健康チェック・検査などの協力依頼を行った。感染者が出ない、出てもクラスターにはならずに行えた。休園中の通所サービス利用の保障は今後の課題である。

そういう中で、コロナ禍で入所施設との往来を避けるために、利用者の行動を体を押して制限するという身体的虐待を起こしてしまった。権利擁護・自閉症・強度行動障害のオンライン研修でスキルアップを継続してきたところではあったが、さらに強化するとともに、職員のストレスを減らすこと、職場風土改善が問われた。

後半は発達障害のコンサルテーションも入れることで、現状分析から支援方法の検討を行ってきた。

楽しみとしての行事は、密にならないように利用者の実行委員会で壁面製作・映像・ミニスポーツ大会・季節のお弁当などを行ってきた。

「生活介護事業」の活動は「創作」は、壁面 各自の絵画・工作の作品づくり「健康」はウォーキング ゲーム 健康相談、「生産活動」は軽作業で100均製品・検査キッドなどに取り組んだ。「自立課題」も感染対策で共有せず、各自に合ったものを増やしていった。「就労継続B型事業」は工賃向上と利用者特性に合った作業を目指し、求人広告から新作業を試行した6社のうち2社がマッチし、継続し請け負っている。また、自主製品はコロナ禍で直接販売はできなかったが、特別支援学校のカタログ注文販売や法人内職員への持ち回り販売に取り組んだ。第2松の園との情報共有を行い、協力しあって出入荷してきた。

毎月の園だよりと職員全員がかかわるブログ更新を続け、令和3年度もホームページを見て、近隣地域の特別支援学校生徒の見学や実習につながった。

西宮市・国から感染予防対策費用の補助で3回の通所関連者の検査を行い、事業の安全につなげた。ICT導入費用補助でNASを導入し、職員の業務効率化が進んだ。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス管理 責任者	看護師 パート	栄養士
1	1	1	(1)	0
理学療法士 非常勤	支援員 常勤	支援員 非常勤		
0	8	5		

4 年 3 月 31 日現在

3 外部・内部研修

外	4 月	自閉症の特性理解	支援員 1
外	5 月	自閉症評価から支援へ	支援員 1
外	5 月	自閉症構造化のアイデア	支援員 1
外	6 月	自閉症公開事例発表	支援員 1
外	6 月	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践	支援員 2
外	6 月	問題行動の理解と対応	支援員 1
外	6 月	リーダーシップ研修 (B コース)	副主任
外	7 月	当事者からのメッセージ	支援員 2
外	7 月	発達障害とトラウマ(Web)	支援員 1
外	7 月	強度行動障害実践報告会	支援員 1
外	9 月	BCP って何？基礎から学ぶ	施設長
外	9 月	気になる・困った行動には訳がある ～ABA の考えをもとにその理解と対応～	支援員 1
外	10 月	強度行動障害における標準基準と人材育成	副主任
外	10 月	「個別支援計画」作成および運用に関する 研修会	サビ管
外	10 月	障害者の福祉的就労と日中活動のサービス 支援の在り方について	副主任
外	11 月	思春期の変化と性教育	支援員 1
外	11 月	苦情解決セミナー	副主任
外	11 月	BCP 策定・運用のポイント	施設長
外	11 月	ICT を活用した支援	サビ管 1 支援員 1
外	12 月	全日本自閉症支援者協会研究大会 自閉症の人の生涯を支える地域を作る	支援員 1

外	1 月	コロナウイルス対策研修	副主任
外	2 月	重度の知的障害を抱える自閉症の 評価と実践	支援員 1

上記以外に知的障害者協会オンライン研修 職員各 2 回

4 年間行事

月	行 事 内 容	参加人数
4 月	お花見弁当	4 2
6 月	阪神特別支援学校・芦屋特別支援学校 自主製品カタログ販売	1 6
6 月	冷たいおやつ会	4 6
7 月	定期健康診断	3 1
7 月	七夕作品展	全員
8 月	ミニ夏祭り（8 月コロナ感染休園のため延期）	4 6
9 月	ミニミニスポーツ大会	4 1
1 0 月	行楽弁当	4 1
1 1 月	武庫川園祭り	4 1
1 1 月	芦屋特別支援学校・阪神特別支援学校生徒 実習	4 2
1 2 月	クリスマス会	4 5
1 月	新年会	3 8
2 月	節分おやつ・壁画	4 5
3 月	ひな祭りおやつ・壁画	4 5

毎月 誕生会 避難訓練

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4 月	127, 501

5 月	132, 990
6 月	151, 816
7 月	146, 300
8 月	165, 406
9 月	103, 640
10 月	149, 669
11 月	120, 680
12 月	135, 420
1 月	90, 044
2 月	102, 941
3 月	133, 247
合 計	1, 559, 654

こころ&つばさ

1 令和3年度事業総括

今年3月グループホーム設立10周年を迎える。
それぞれのご利用者が相談員・ヘルパー・世話人の支援を受けながら地域生活を楽しんでおられる。

現在男性4名女性2名のご利用者が生活されている。

相談支援員・ケアマネと連携しながらコロナ対応を行ってきた。
ご利用者自身が熱発で検査を受けられたのは1名で3回。カトレアの園の送迎、ヘルパー同伴で対応した。幸いすべて陰性だった。他の事業所で陽性者が出たケースもあったがご利用者には影響はなかった。
体調の変化が見られたご利用者1名が1度救急搬送された。それ以降訪問看護が週1日入るようになり、3つある日中の事業所で担当者会議を行いながら、情報の共有と対応の統一が図られ、体調も改善されつつある。自立を目指すご利用者にも体調の変化があり、体調管理・環境の整備についての支援が必要になってきている。

自立を目指すご利用者は担当者会議を行いながら現在は物件探しをしておられる。

2 職員配置

管理者	サービス管理 責任者	支援員 非常勤
1名	1名	12名

4年3月31日現在

かがやきステーション

1 令和3年度事業総括

法人内通所利用者36名・法人内入所利用者57名・法人外サービス利用者3名一般就労1名のサービス利用計画支援、サービス継続支援を行った。死亡による利用者減があったが、法人内利用者の新規受け入れにより契約者数は増えている。障害サービス利用によって本人らしい生活が成り立つような支援体制作りを他の事業所と連携を取りながら行った。

令和3年10月より体制が変わり、管理者兼相談支援員1名、相談支援員兼他施設職員1名の2人体制となった。法人内における将来的な相談支援事業の在り方についての検討は継続中である。

令和3年度は昨年度から引き続きコロナ禍ということもあり、電話による面談を中心に行った。通所施設で陽性者がわかり1週間休園することがあったが、急に自宅での生活が難しい方に対しては市役所と交渉し、別の事業所を緊急的に利用できるような対応を行った。入所施設利用者の「働きたい」「地域で暮らしたい」「充実した余暇活動をしたい」などのニーズに合わせた支援の調整を法人内や他の事業所とも連携をとってきたが、コロナ禍で一時中断している。

グループホームや他の通所事業所に移行を希望される方には事業所を探し見学、面接、契約の同行を行った。また生活保護の申請手続きの同行や申請書類を揃えるサポートも行った。

入所施設で空きができた時、入所希望者の紹介を行った。入所者が決まった後はスムーズな移行ができるように家族、入所施設、通所施設の調整を行った。

長期で入院生活を送っていた方の退院時のカンファレンスに参加した。退院後在宅医療や訪問看護、福祉のサービスを組み合わせて自宅で安心して生活できるような支援体制作りを行った。

法人内利用者でかがやきステーションへの移行を希望する方には他の相談支援事業者から変更を受け付け、新規利用者の獲得につながっている。

強度行動障害のある方で通所事業所のみでは対応が難しかった為、外部のコンサルテーション機関に依頼し日程の調整などを行った。支援会議にも参加し支援方法の検討を行った。

家族の入院など緊急時の対応として市役所と交渉し、短期入所の日数など必要な支給量の確保の為に計画作成を行った。

定期的に西宮市自立支援協議会のあんしん窓口連絡会（市内の相談支援員が集まる会議）に参加し、研修の受講や情報共有、必要なサービスに結びつけるための提言を行ってきた。

2 職員配置

管理者兼相談支援員	相談支援員（他施設職員と兼務）
1	1

4 年 3 月 31 日現在

3 外部・内部研修

実施月	研修名	参加人数
6 月	医療介護事業所のバリアフリー	1
6 月	相談支援ネットワーク研修	1
6 月	障害年金制度	1
7 月	強度行動障害スーパーバイザー養成講座・実践報告会	1
9 月	気になる・困った行動には意味がある～ABA の考え方～	1
1 0 月	介護現場におけるリーダー育成セミナー	1
1 1 月	住まい探しにお困りの方支援セミナー	1
1 1 月	BCP 策定・運用のポイント	1
1 1 月	苦情解決セミナー	1
1 2 月	一羊会 実践報告会	1
1 2 月	6 5 歳問題・障害福祉から介護保険制度への移行ケース	1
1 2 月	愛着障害の理解と支援	1
1 月	災害などの緊急時における多角的な支援を平時から考える	1
1 月	コロナウィルス対策研修	1
2 月	重度の知的障害を抱える自閉症の評価と実践	1
2 月	防災視点の利用者支援の実際は	1
2 月	法人内研修・実践報告会	1
2 月	おとなの発達障害と支援のポイント	1
2 月 3 月	現任研修	1
3 月	統合失調症を学ぶ	1
3 月	意思決定支援	1